

東北地方太平洋沖地震による地すべり性地表変動の SAR 干渉画像による観測 InSAR-image observation of landslide surface deformation triggered by the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake

佐藤 浩^{1*}, 岡谷 隆基¹, 山中 雅之¹, 鈴木 啓¹, 関口辰夫¹, 小荒井 衛¹, 宮原 伐折羅¹, 神谷 泉¹, 原 哲也², 八木 浩司³
SATO, Hiroshi^{1*}, OKATANI, Takaki¹, YAMANAKA, Masayuki¹, SUZUKI, Akira¹, Tatsuo Sekiguchi¹, KOARAI, Mamoru¹,
MIYAHARA, Basara¹, KAMIYA, Izumi¹, Tetsuya Hara², YAGI, Hiroshi³

¹ 国土地理院, ² エイ・イー・エス, ³ 山形大学

¹GSI of Japan, ²Advanced Engineering Service, ³Yamagata Univ.

合成開口レーダー (SAR: synthetic aperture radar) は, 人工衛星や航空機から地表に向けてマイクロ波を射出し, その反射波を観測して地表面の性状を把握する技術である. ALOS/PALSAR データを使った平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震 (M 9.0) の地殻変動に伴う SAR 干渉画像は国土地理院ホームページから公開されている. この画像では地殻変動とは別に局所的な変動を示す干渉縞が見られ, 村上ほか (2011) と同様に, 例えば岩手県栗原市南西部と福島県土湯温泉周辺で, 地震に伴う地すべり性地表変動を検出した可能性があるため報告する.

参考文献

村上亮・奥山哲・古屋正人・阿部隆博 (2011): ALOS(だいち)PALSAR による東北地方太平洋沖地震の地盤変動解析
山体崩壊の前兆把握への応用の検討, 日本火山学会 2011 年秋季大会講演予稿集, p. 55.

キーワード: 地すべり, 地震, 干渉 SAR, だいち, PALSAR

Keywords: landslide, earthquake, InSAR, ALOS, PALSAR